

4 避難時のポイント

危険を感じたら 迷わず避難



避難先の検討

災害リスクの把握

事前に防災マップで自宅や職場周辺の災害リスクを把握しておきましょう。



必要に応じて避難を

防災マップで色が塗られていないところでも、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの場合は、市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難しましょう。

親戚・知人宅への避難も検討

安全な場所にある親戚・知人宅への避難も検討しましょう。



危険な場所から必ず避難を

市からの避難情報に従い、警戒レベル4までに必ず避難しましょう。



避難時の服装

帽子や防災ずきん、ヘルメットを被り、落下物などから身を守りましょう。

手袋・軍手などを着用し、ガラス破片などによるケガを防ぎましょう。

運動靴など、丈夫で歩きやすい靴を履きましょう。

マスクを着用しましょう。

非常用持ち出し品はリュックに入れ、両手が使えるようにしておきましょう。

燃えにくい木綿などの長袖・長ズボンを着用しましょう。

子どもには名札や家族写真を持たせましょう。

